

科 目	コミュニケーション論				
時間数	1 単位 15 時間	授業方法	講義	授業時期	1 年
講師名	③八塚愛未 ⑤山本 斉				
実務経験	③看護師				
ねらい	看護師を目指す者として、コミュニケーションの重要性を理解し、人と人との信頼関係の形成に不可欠なコミュニケーションと対人技法を学ぶ。 自己理解・他者理解に努め、互いを尊重した対人関係の構築、発達段階に応じた個人や集団とのかかわり方を学ぶ。				
目 標	1. 対人関係におけるコミュニケーションの重要性を理解し、医療の場の人間関係について、医療者として、対象者の多様な価値観を尊重し、信頼関係を結ぶことができるよう、配慮すべきことが分かる。				
授業計画					
回	内容				
1	コミュニケーションの基礎 ・コミュニケーション(言語的・非言語的)の種類 ・医療におけるコミュニケーションの特徴				
2	自己理解・他者理解 ・プロセスレコードの意義・活用方法				
3～4	コミュニケーションスキルトレーニング ・事例によるロールプレイ ・フィードバック				
5	小児と集団の特性に応じたコミュニケーション① —小児の発達特性から考えるコミュニケーションのあり方—				
6	小児と集団の特性に応じたコミュニケーション② —保育現場における事例から見たコミュニケーション—				
7	小児と集団の特性に応じたコミュニケーション③ —小児理解に基づく、医療従事者の対応—				
8	テスト				
評価方法	その時間数の 3 分の 2 以上の出席者に限り筆記試験の受験資格を与える。 学科終講時に行う筆記試験80%、プロセスレコー15%、その他(演習、課題取り組み状況)を総合して評価する。 筆記試験 60%以上の取得、総合評価 60 点以上をもって単位取得とする。				
教科書	基礎看護学②基礎看護技術Ⅰ：医学書院 自己理解・他者理解を深めるプロセスレコード：日総研				